

1 施設概要

施設名	高知市春野デコの里		施設所管課	高齢者支援課				
指定管理者名	NPO法人 春野デコの里							
指定期間	令和 5 年 4 月 1 日 ~ 令和 8 年 3 月 31 日		公募・指名の別	指名				
設置目的	市民の健康の保持及び向上並びに福祉の増進を図るため。							
業務内容	1. デコの里の維持管理に関する業務 2. 市民の健康の保持及び向上のために必要な事業に関する業務 3. 高齢者の介護予防その他福祉の増進のために必要な事業に関する業務 4. その他設置目的を達成するために市長が必要と認める業務に関する業務							
施設内容	所在地: 高知市春野町西畑2680番地 施設概要 構造: 木造平屋建て 敷地面積: 788.32㎡ 延床面積: 168.93㎡							
職員体制	常勤職員	1人	非常勤職員		契約社員		合計	10人
	パート職員	9人	アルバイト		その他			

2 目標値と達成状況(指定管理者記入欄)

指標	令和 5 年度 (1 年目)		令和 6 年度 (2 年目)		令和 7 年度 (3 年目)	
	目標値	実績	目標値	実績	目標値	実績
利用者数(人)	6,798	7,086	6,732	7,248		
事業開催数(回)	309	308	306	306		
目標値に対する達成状況について	令和5年度の目標値を、一日平均22名、年間延べ6,798名としました。令和4年度は、コロナ下だったため、年間の平均を取ると一日平均20.37名と低いことから、令和5年2月・3月の平均値をとって令和5年度を一日平均22名と予測しました。結果は、台風、大雨、猛暑、寒波と記録的な超異常気象の年でしたが、令和5年11月頃から順調に回復し始め、目標値に対して年間で288名増の一日平均23.01名(年間延べ7,086名)を達成する事が出来ました。前年度と比較しても年間1,286名増加しました。特筆すべきこととして、令和6年3月は、一日平均26.12名(延べ679名)と月間平均値としては、デコの里開設以来の数字を記録しております。		令和6年度の目標値は、一日平均22名、年間延べ6,732名と設定しました。結果は1日平均23.69名、年間延べ7,248名で、目標値より516名増でした。令和6年度も前年度と同様に、猛暑と寒波の超異常気象で、体調管理が難しく、入院した方や死亡された方が例年以上に多かったのですが、年度末には前年比で162名利用者が増加していました。増加要因は様々な事が挙げられますが、特筆すべき事として令和6年6月の新型コロナウイルス対応です。感染対策を徹底したことでも月末には、ほぼ全員が利用を再開し、経営へのダメージを最小限に食い止めたことです。			

※R5台風接近のため臨時休業

3 利用状況(指定管理者記入欄)

	令和 5 年度 (1 年目)	令和 6 年度 (2 年目)	令和 7 年度 (3 年目)
利用者数	7,086 人	7,248 人	人
利用者数:対前年度比	122.2 %	102.3 %	%
開館日数	308 日	306 日	日
事業開催割合	100 %	100 %	%
利用状況についての評価	(1) 令和6年9月の敬老会を『通常開催』した事で、69名が参加したことから、9月の平均値が高くなりました。 (2) 利用者が増加した原因の一つ目は、新規利用者が前年度は12名だったのが、令和5年度は33名登録したことです。 (3) 二つ目は、月・金曜日の健康志向を目的とした健康体操に、参加者が30名を超える日が多かったことです。 (4) 三つ目は、これ迄事業を休止・縮小していた野外行事(里の秋祭り、年忘れカラオケ大会、新春こ初め(初詣)陽春演奏大会)を『通常開催』したことで、多くの利用者が参加しました。 (5) 四つ目は、カルチャー教室の講師を入れ替え(水彩画教室、折り紙教室)、受講生が増えたことです。 (6) 五つ目は、比較的月・水・金曜日の脳トレ健康教室や健康体操に参加者が集中していたので、少なかつた火曜日、木曜日、土曜日にその他の行事や新規行事を入れ、調整したことです。		

※ 利用者数令和4年度実績:5,800人
 ※ 利用者数令和元年度実績:7,509人

4 収支状況(指定管理者記入欄)

単位:千円

	令和5年度 (1年目)		令和6年度 (2年目)		令和7年度 (3年目)	
	計画	実績	計画	実績	計画	実績
収入	指定管理料	11,275	11,275	11,020	11,309	11,550
	利用料金収入	6,458	6,732	7,022	7,430	7,987
	自主事業収入	0	0	0	0	0
	その他収入	270	415	0	66	0
	収入計	18,003	18,422	18,042	18,805	19,537
支出	人件費	10,725	11,624	11,730	11,284	13,055
	光熱水費	1,026	999	783	845	783
	保険料	211	227	230	287	279
	委託料	223	240	266	261	305
	修繕費	140	106	197	14	170
	管理運営費(人件費等除く)	2,596	2,822	2,572	2,948	2,404
	事業費	3,067	2,630	2,927	2,861	3,020
	消費税及び地方消費税	0	0	0	0	0
	その他の公課費	15	2	0	0	0
	事業所税	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	9
支出計	18,003	18,650	18,705	18,500	20,025	0
差引収支 (収入計-支出計)	0	▲ 228	▲ 663	305	▲ 488	0

5 運営状況分析指標(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
① 利用料金比率	36.5 %	39.5 %	- %
② 指定管理料比率	61.2 %	60.1 %	- %
③ 人件費比率	62.3 %	61.0 %	- %
④ 利用者1人当たりの管理コスト	2,632 円	2,552 円	- 円
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	1,591 円	1,560 円	- 円
⑥ 外部委託費比率	1.3 %	1.4 %	%

※【運営状況分析指標の考え方】

指標	指標の説明
① 利用料金比率	収入の総額に対して利用料金収入の占める割合を表す。
② 指定管理料比率	収入の総額に対して指定管理料の占める割合を表す。
③ 人件費比率	支出の総額に対して人件費の占める割合を表す。
④ 利用者1人当たりの管理コスト	支出の総額を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑤ 利用者1人当たりの高知市負担コスト	指定管理料を延べ利用者数で割った金額を表す。
⑥ 外部委託費比率	支出の総額に対して外部委託費の占める割合を表す。

6 利用者の満足度調査等(指定管理者記入欄)

	令和5年度 (1年目)	令和6年度 (2年目)	令和7年度 (3年目)
調査の実施内容	① 調査方法	ご意見箱を設置	アンケート調査
	② 調査期間		R7.2.15~R7.3.15
	③ 配布数		142名
	④ 回収数		141名
	⑤ 回収率		99.3 %
調査結果	誰も投函者はいなかった	R6年度利用者サービス満足度アンケート調査を令和7年3月に実施し、141名の方から回答を頂きました。デコの里が皆様の役に立っているかという設問に対し、129名(90%)の方から役に立っているとの回答がありました。特にデコの里は、健康志向を目的とした事業、生きがい教室、年間、月間行事の3本柱で運営していますが、各事業の全体を平均すると、92.4%の利用者の方が満足されています。また、食事提供の設問でも、124名(87.9%)の方がデコの里の食事に満足されています。さらに、意見、要望欄に記述した方が33名、その内11名の方が「デコの里の事業をこれからもずっと続けて下さい」と切望されています。特に「デコの里は難病の私にとって、かけがえのない施設であり、私の生きる糧です。」と記述された方がいましたが、デコの里が単なる利用施設ではなく、生活の場そのものであるという思いが伝わってきました。	

7 利用者からの苦情・意見等及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

日付	苦情・意見等	対応状況
	特になし	

8 評価シート(自己評価・一次評価・総合評価)

(1) 業務の履行状況の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 開館時間等	条例に基づき、開館時間・休館日は遵守されているか	3	3	3.0
2 法令等遵守	地方自治法、施設に係る条例その他関係法令等は遵守されているか	3	3	3.0
3 職員配置	適切な人員配置がされたか	3	3	3.0
4 職員研修	管理運営のために必要な研修等が適切に行われたか	3	3	3.0
5 施設の平等利用の確保	施設利用に当たって平等の確保策はとられているか	3	3	3.0
6 利用料金(使用料)	利用料金の設定、徴収・減免・還付等の手続は適切に行われたか	3	3	3.0
7 保守点検事務・警備業務	保守点検事務・警備業務は適切に行われたか	3	3	3.0
8 清掃・維持管理業務	清掃・維持管理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
9 廃棄物処理業務	廃棄物処理業務は適切に行われたか	3	3	3.0
10 修繕業務	修繕業務は適切に行われたか	3	3	3.0
11 事業の実施状況	条例、事業計画書等に基づき、事業を実施しているか	3	3	3.0
12 利用状況	利用者数・稼働率等は適切な水準か	3	3	3.0
13 利用促進の取組	利用者増加のための対策は適切に行われたか	3	3	3.0
14 施設賠償責任保険の加入	施設賠償責任保険に加入しているか	3	3	3.0
15 利用者の安全確保対策	事故時の対応政策(マニュアル作成、訓練等)が確定されているか	3	3	3.0
16 緊急時対応	緊急時・防災時の対応体制(マニュアル作成、訓練等)が確立されているか	3	3	3.0
17 個人情報保護に関すること	個人情報に関する対応は適切か	3	3	3.0
18 情報公開に関すること	情報公開に関する対応は適切か	3	3	3.0
19 備品購入・管理の状況	備品の購入手続・管理体制は適切に行われたか	3	3	3.0
20 利用者への支援	利用者への支援は事業計画に基づき、適正・公平に行われたか	3	3	3.0
配点60点(20項目×3点)		小計	60	60.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(2) サービスの質の確認

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会
1 利用者ニーズの把握	利用者ニーズを把握するとともに、利用者ニーズを事業の計画及び実施に反映できているか	5	4	3.3
2 接客態度・苦情要望等への対応	接客態度、苦情・要望等への対応等は適切か	5	4	3.3
3 施設内の案内表示	施設内の案内表示は見やすくなっているか	5	3	3.0
4 利用案内	施設情報・事業実施情報等は容易に入手できるようになっているか パンフレット・利用案内等は分かりやすくなっているか	5	3	3.0
5 維持管理業務	日常清掃業務や衛生管理は適切か	5	3	3.0
6 施設運営業務	実施された事業内容は適切に行われているか	5	3	3.0
7 事業の実施状況	事業は効果的に行われたか	5	4	3.3
8 自主事業の実施状況	施設目的に沿った自主事業が実施されたか	4	3	3.0
9 各種事業の内容	各種事業(講座・イベント等)は施設の設定目的に合致した事業であり、利用者が満足できる内容であったか。	5	4	3.7
配点45点(9項目×5点)		小計	44	31
			28.6	

評価基準

点数	小項目の評価基準
5	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、非常に優れていると認められる。
4	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準以上の運営がなされ、優れていると認められる。
3	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がなされ、適正であると認められる。
2	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営に達しておらず、簡易な改善や一部目標の見直しを要する。
1	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営がほとんどなされておらず、早急な改善や目標の見直しが必要である。
0	協定書・仕様書・事業計画書に定める水準の運営が全くなされておらず、抜本的な改善が必要である。

(3) サービス提供の継続性と安定性

評価項目(小項目)	確認内容	自己評価	一次評価	総合評価	
		指定管理者	施設所管課	指定管理者業務評価委員会	
1 経費節減・効率的な運営	経費節減及び効率的な管理運営のための工夫が見られるか	3	3	3.0	
2 事業収支	事業収支は妥当か	3	3	3.0	
3 経営状況	指定管理者の経営状況は妥当か	3	3	3.0	
4 人件費比率	支出に占める人件費の割合は妥当か	3	3	3.0	
5 外部委託費比率	支出に占める外部委託費の割合は妥当か	3	3	3.0	
配点15点(5項目×3点)		小計	15	15	15.0

評価基準

点数	小項目の評価基準
3	事業計画・収支計画等に基づく経営がなされている。
2	おおむね事業計画・収支計画等に基づく経営がなされているが、簡易な改善や一部業務の見直しを要する。
1	事業計画・収支計画等に基づく経営がほとんどなされておらず、早急な改善が必要であり、業務の全面的な見直しが必要である。
0	事業計画・収支計画等に基づく経営が全くなされておらず、抜本的に業務の全面的な見直しが必要である。

9 自己評価・一次評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	自己評価 (指定管理者)	自己評価に対する割合	一次評価 (施設所管課)	一次評価に対する割合
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60 点	100 %	60 点	100 %
(2) サービスの質の確認	45 点	44 点	98 %	31 点	69 %
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15 点	100 %	15 点	100 %
合計	120 点	119 点	99 %	106 点	88 %

(2) 自己評価(指定管理者評価)の内容

年度	評価内容
5	令和5年5月8日新型コロナウイルスの感染症の位置付けが、2類から5類に移行したことで、精神的重圧は多分に軽減されました。他方令和5年度は、新型コロナに替わり、超異常気象による影響が重くのしかかってきましたが、それを跳ね返して、年間延べ7,086名(前年度より1,286名増、目標値に対して金額にして273,600円増収)達成できたことは、評価できると思います。ただ、利用料収入を増やしていくことは、必然的に経費(主として人件費)も増加します。今期の目標値に対して288名増の利用料収入は、全て人件費に充当しました。結局利用料収入を増やしても経費が正比例しており、収支のバランスをとることの難しさを痛感しました。
6	(1)令和6年度も前年度と同様に、新型コロナと気候変動に苦しめられた1年でした。しかしながら、量的には前年度を上回る7,248名の方が利用され、目標値を516名超過する等の成果を上げることができました。 (2)総合的にも、令和6年度は実質+305,656円の黒字決算でした。黒字の要因は①利用人数が予想以上に多かったこと②令和6年10月から利用料金を1,100円に改訂したこと③常勤のNSが令和6年11月に退職したことによる給与支払財源の減額等です。尚、今後の課題として国の最低賃金改訂に伴い、高知県が2年連続して改訂し、今後も改訂が見込まれていることです。給与補填財源の問題は運営主体だけでなく、当該法人にとっても大きな課題になってくると考えられます。
7	

(3) 一次評価(施設所管課評価)の内容

年度	評価内容
5	カルチャー教室の見直し等により、利用者増となったことが評価できる。ただし、利用者増による人件費等の増加があるため、損益分岐点を意識しながら、事業を実施してほしい。利用者アンケートは3年に一度の実施とのことなので、利用者とその家族で構成する「エールを送る会」の意見や日々の利用者の声を聞きながら、事業を計画し、接遇等に活かしてもらいたい。
6	利用者数が目標値を上回り、前年度から2%以上の増加となった。事業実施に当たっては、利用者とその家族で構成する「エールを送る会」等から利用者のニーズを把握し、その内容を事業に反映することにより利用者増加に努め、新規利用登録者22名の獲得につなげることができた。施設の運営についても、損益分岐点を意識しながらの運営ができており、収支の黒字化が図られた。
7	

10 総合評価結果

(1) 評価結果

評価分類	配点	評価 (指定管理者業務評価委員会) 合計	配点に対する割合	評価
(1) 業務の履行状況の確認	60 点	60.0 点	100 %	S
(2) サービスの質の確認	45 点	28.6 点	64 %	
(3) サービス提供の継続性と安定性	15 点	15.0 点	100 %	
合計	120 点	103.6 点	86 %	

評価基準

区分	S	A	B	C
評価基準	評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、全ての小項目で3点以上の評価であるもの	・評価点数の合計値が配点合計点数の65%以上85%未満 ・評価点数の合計値が配点合計点数の85%以上、かつ、小項目で3点未満の評価があるもの	評価点数の合計値が配点合計点数の45%以上65%未満	評価点数の合計値が配点合計点数の45%未満
評価内容	・事業計画書・仕様書を上回る取組がなされ、非常に優れた実績をあげている。 ・適正に管理運営が行われており、又はそれ以上の取組がなされ、優れた実績をあげている。	事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われている。	おおむね事業計画書・仕様書に沿って適正に管理運営が行われているが、管理運営の一部に改善を要する。	事業計画書・仕様書に沿った管理運営が行われていない事項があり、管理運営の大部分において改善を要する。

(2) 総評

<p>事業計画書・仕様書を上回る取組がなされています。 利用者数が目標値を516名上回っており、目標達成できています。 利用者ニーズを把握し、事業に反映することで、新規利用登録者が22名となるなど、利用者増加に努めている点が評価できます。</p>

(3) 総合評価実績

年度	評価結果	総合評価点数	総 評
5	A	102.2 点	事業計画書・仕様書に沿った適正な管理運営がなされています。 利用者の少ない曜日の行事開催やカルチャー教室の見直し等で利用者数の増加に取り組まれたことが評価できます。 人件費が増大する等、支出が収入を上回っていますので、エールをおくる会等での意見交換で利用者ニーズの把握に努め、利用拡大、収支の改善に努めてください。
6	S	103.6 点	事業計画書・仕様書を上回る取組がなされています。 利用者数が目標値を516名上回っており、目標達成できています。 利用者ニーズを把握し、事業に反映することで、新規利用登録者が22名となるなど、利用者増加に努めている点が評価できます。
7		点	

11 指定管理業務における課題・改善事項及びそれらへの対応(指定管理者記入欄)

課題・改善事項	改善時期	改善に向けた対応
特になし		